

# 石川島記念病院

事務 総務 小杉 学

**功 績** 看護部門と調整し物品請求の定数化、棚の置き場所の検討を実施し、在庫管理システムの構築をはかりコスト削減に貢献した功績。

**推 薦 者** 丸山 恭子

**推 薦 理 由** 小杉さんの常日頃の勤務態度は、誰かにアピールする態度ではなく、自主的に病院全職員の働きやすさを考えた行動を実践しています。今回、開院当初より在庫管理がスムーズにいかず、病棟倉庫は常に物で溢れ、必要な時にタイムリーに使用することができず、物品請求の仕方・在庫管理システムの構築に苦慮していました。総務課の小杉さんと病棟看護師での話し合いを自主的に開催し、当院における在庫システムを構築した功績により推薦いたします。

## 内 容

今回、総務課の小杉さんは、在庫管理の改善で成果があったので推薦いたします。

石川島記念病院は病床が少ないため、職員数も少なく一人一人が担う役割が多く、さらに業務の上での自立が求められます。その中でも総務業務の煩雑さはどの施設でもあり、業務改善を進めていることと思います。

当院においても総務課の業務は、在庫・物品管理、営繕、福利厚生、リネン関係、業者対応、院内行事企画運営と多岐に渡っていますが、小杉さんが一手に引き受けて実施しております。

そこで、開設当初より小規模病院の欠点でもありますが、医材料の余剰を他部署で消耗できないためどうしても在庫として残り、期限切れになるなどが懸案となっていました。医材料や消耗品の管理について、システム化がされていないため、無駄な在庫をかかえ、病院や病棟の倉庫に物が溢れている状況にありました。

そこで小杉さんと看護部で話し合いを1回/月開催し、医療消耗品の洗い出しや定数を決定しました。その結果、誰が見ても分かりやすいように使用目的別に物品棚を分け、定数を表示することにしたことで、余分な請求が少なくなり、消耗品・医材料請求時間の短縮化、消耗品・医材料請求金額の低減を図ることができました。

小杉さんの勤務態度は、総務課の模範となるものです。私たち医療者が、より働きやすい環境をいつも考え整えてくれています。働く環境に不満なく働くことができているのも、小杉さんの働きが大きく影響していると考えます。まさしく院内における縁の下の力になっております。どんなに忙しくとも笑顔を絶やさず、職員の無理難題に対してスピーディに解決している姿は、スーパーマンのようです。自ら積極的に行動する姿勢は、グループの理念、病院理念をしっかりと自分の行動まで落とし込んでいるための行動であると思っています。